

## 人生の最終段階における希望する医療・療養の場所に関連する要因 想定される疾病別分析 —一般国民に対する意識調査の二次解析より—

研究代表者：田宮菜奈子 筑波大学医学医療系 教授  
研究協力者：羽成恭子 筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学  
研究分担者：濱野淳 筑波大学医学医療系 講師  
研究分担者：Thomas D. Mayers 筑波大学医学医療系 助教

### 研究要旨

厚生労働省は平成 29 年に実施した「人生の最終段階における医療に関する意識調査」で、人生の最終段階の病状を末期がん、慢性の重い心臓病、認知症と設定し、それぞれについて、どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいかを調査した。希望する療養場所として最多であったのは、想定疾病が末期がんの場合は自宅、慢性の重い心臓病の場合は医療機関、認知症の場合は介護施設とそれぞれ異なった。いずれの疾患設定においても、身近で大切な人の死を最近 5 年以内に病院で経験した人は、希望する医療・療養の場所として有意に医療機関を希望していた。一方設定される疾患が慢性の重い心臓病もしくは認知症の場合、最近 5 年以内に身近で大切な人の病気やけがによる介護を経験した人は、希望する医療・療養の場所として自宅を選択していた。介護を通して、具体的な医療や療養を体験し、自宅で過ごす状況を描くことができるようになり、希望する医療・療養の場所として自宅を選択した可能性がある。誰と同居しているかについて注目すると、末期がんや、慢性の重い心臓病を想定した場合、それぞれ父母・息子の妻、息子といった同居者がいると、自宅で療養したいという希望がみられるが、想定される疾患が認知症では、誰と同居をしていたとしても、自宅を療養場所として希望するという有意な結果は得られなかった。これらの結果から、想定される疾患で希望する医療・療養の場所の選択が変わる可能性が示唆され、今後さらに解析を進める予定である。

#### A. 研究目的

厚生労働省は 5 年毎の一般国民を対象とした「人生の最終段階における医療に関する意識調査」において、人生の最終段階に希望する医療・療養の場所に関する設問を設けてきた。平成 29 年に実施した一般国民を対象とした同調査では、人生の最終段階の病状を末期がん、慢性の重い心臓病、認知症と設定し、それぞれについて、どこで過ごしながらか医療・療養を受けたいかを、医療機関・介護施設・自宅から単一選択で調査した。末期がんの場合には自宅を選択した者が最多の 47.4%であり、一方重い心臓病を想定した

場合には、医療機関を選択した者が最多 48.0%で、設定を認知症とすると、介護施設を選択した者 51.0%が最多であったと既に結果は公表されている<sup>1</sup>。平成 24 年に実施された同調査でも、ほぼ同様の結果が得られている<sup>2</sup>。

その他の先行研究では、生活全般にケアが必要だが身体的には苦痛のない状況で、生命予後が 1~2 か月程度の場合、どこでケアを受けたいか日本人へのアンケート調査が行われており、自宅と回答した人が 43.7%で最多であったと報告されている<sup>3</sup>。また、人生の最終段階のケアをどこで受けるかを論ずる先行研究では、

想定される疾患の代表はがんである<sup>4</sup>。一方、個人が人生の最終段階において希望する医療・療養場所と関連する要因を、想定される疾患別に検討した調査はない。

本研究は、人生の最終段階に希望する、医療・療養の場所と関連する個人の要因を、想定される疾患別に調査し、臨床において希望する医療・療養場所を選択していく際の一助となる情報を見出すとともに、今後への課題を明らかにすることを目的とする。

## B. 研究方法

本研究は2017年12月に厚生労働省が実施した一般国民を対象とした無記名式自記式アンケート調査「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の二次解析である。なお、調査票は全国の20歳以上の男女から層化二段階無作為抽出で抽出された一般国民6000人に郵送、配布され、973人から回収されている（回収率16.2%）。

研究班は、厚生労働省より先の調査データを、回答者の個人が同定されない形式で授受され、解析に用いた。

意識調査票の一般国民票では、「もしもあなたが以下のような病状になった場合、どのような医療・療養を希望しますか」という設問が、末期がん・慢性の重い心臓病・認知症のそれぞれのシナリオで問われている。そして、それぞれのシナリオにおいて想定される残された期間を1年以内とした時に「どこで過ごしながらい医療・療養を受けたいですか」と問い、医療機関・介護施設・自宅のいずれか一つを選択する形式となっている。選択した希望する場所と、これらに関連する個人の要因を、統計学的手法を用いて検討した。なお、関連する因子は、同調査票に含まれるフェースシートの情報を用いた。無回答などにより情報が欠損している回答者は、解析対象から除外した。

解析にはStataを用い、群間比較にはカイ2乗検定もしくはFisherの正確確率検定、多項ロジット解析を行った。P<0.05を有意差ありとした。

倫理的配慮として、厚生労働省からのデータ二次利用に関しては、筑波大学倫理審査委員会の審査による承認の上、実施とした。

## C. 研究結果

調査票に回答のあった973人のうち、情報欠損があるデータは除外し、最終的に二次解析対象となったのは781人であった（有効回答率13.0%）。

解析対象者の基本属性（Table1）は、男性431人（55.2%）、60歳以上387人（49.6%）、同居者がいるのは657人（84.1%）であった。同居者（複数回答）に関しては、配偶者と回答した529人が最も多く、息子238人、娘200人が続いた。身近で大切な人の死を最近5年以内に経験した人は334人おり、そのうち200人（59.9%）が最近5年以内に介護の経験があると回答をした。

Table1 対象者の基本属性

	解析対象者(n=781)	
	n(人)	%
性別	男性	431 55.2
	女性	350 44.8
年齢	20-29	38 4.9
	30-39	98 12.5
	40-49	134 17.2
	50-59	124 15.9
	60-69	157 20.1
	70-79	151 19.3
	>80	79 10.1
同居者	あり	657 84.1
最終学歴	中学校	75 9.6
	高校	262 33.5
	短期大学・専門学校	160 20.5
	大学・大学院	284 36.4
かかりつけ医	あり	323 41.4
5年以内の介護経験	あり	289 37.0
	なし	
5年以内の身近で大切な人の死	あり	334 42.8
	なし	
*考えたこと	あり	480 61.5

※人生の最終段階における医療・療養について

#### 【病状設定：末期がんの場合】

希望する医療・療養場所は医療機関 309 人 (39.6%)、介護施設 83 人 (10.6%)、自宅 389 人 (49.8%)であった。

3 群間の比較 (Table2) では、性別 ( $p=0.020$ )、年齢 65 歳以上 ( $p=0.007$ )、父もしくは母と同居あり ( $p=0.001$ )、息子の妻と同居あり ( $p=0.022$ )、身近で大切な人の死を病院で経験している ( $p=0.000$ ) という項目において、群間に有意な差を認めた。

病院を選択することを基準とした多項ロジット解析を示す (Table3)。男性は介護施設を選択することと、有意に負の関連を認めた。一方自宅を選択することは、年齢を重ねることと有意に負の関連を、父もしくは母と同居があることと有意に正の関連を認めた。介護施設もしくは自宅を選択することに関し、息子の妻との同居があることは正の関連を、5 年以内に身近で大切な人の死を病院で経験したことがある場合には負の関連が認められた。

#### 【病状設定：慢性の重い心臓病の場合】

希望する医療・療養場所は医療機関 401 人 (51.4%)、介護施設 154 人 (19.7%)、自宅 226 人 (28.9%)であった。

3 群間の比較 (Table2) では、教育歴が短大・専門学校・大学卒業以上 ( $p=0.000$ )、これまでに人生の最終段階に関して考えたことがある ( $p=0.045$ )、息子と同居あり ( $p=0.000$ )、息子の妻と同居あり ( $p=0.037$ )、5 年以内に身近で大切な人の死を病院で経験している ( $p=0.000$ )、介護施設で経験している ( $p=0.041$ ) という項目において、群間に有意な差を認めた。病院を選択することを基準とした多項ロジット解析を示す (Table3)。介護施設を選択することは、男性は有意に負の関連を認め、教育歴が短大・専門学校・大学卒業以上であることは、有意に正の関連が示された。一方自宅を選択することは、これまでに人生の最終段階の医療や療養について考えたことがある、息子と同居している、5 年以内に身近で大切な人の介護経験があることと、有意に正の関

連が示された。また、5 年以内に身近で大切な人の死を病院や介護施設で経験したことがある場合には、介護施設もしくは自宅を選択することに関し、それぞれ負の関連が認められた。

#### 【病状設定：認知症の場合】

希望する医療・療養場所は医療機関 242 人 (31.0%)、介護施設 428 人 (54.8%)、自宅 111 人 (14.2%) であった。

3 群間の比較 (Table2) では、性別 ( $p=0.001$ )、年齢 65 歳以上 ( $p=0.000$ )、教育歴が短大・専門学校・大学卒業以上 ( $p=0.000$ )、かかりつけ医がいること ( $p=0.001$ )、配偶者と同居あり ( $p=0.026$ )、娘と同居あり ( $p=0.020$ )、身近で大切な人の死を病院で経験している ( $p=0.000$ )、介護施設で経験している ( $p=0.042$ )、自宅で経験している ( $p=0.015$ ) という項目において、群間に有意な差を認めた。病院を選択することを基準とした多項ロジット解析を示す (Table3)。介護施設を選択することについて、男性であること・年齢を重ねることは有意に負の関連を、教育歴が短大・専門学校・大学卒業以上であることは、有意に正の関連が認められた。一方自宅を選択することは、5 年以内に介護経験があると正の関連を持った。5 年以内に身近で大切な人の死を病院で経験したことがある場合には、介護施設もしくは自宅を選択することに関し、それぞれ負の関連が認められた。

#### D. 考察

本研究は、末期がん・慢性の重い心臓病・認知症の 3 つの病状設定のもと、人生の最終段階に希望する医療・療養の場所と、関連する個人の要因を調査した。いずれの病状設定にも共通して認められたのは、男性は介護施設を選択していないことであった。また、病院で 5 年以内に身近で大切な人の死を経験したことがある場合には、介護施設もしくは自宅を選択していなかった。病院における大切な人との死別は、病院での死についての具体的なイメージにつながり、想定されるいずれの疾患であっても、死は医療機

関でなされるものとする機会となった可能性がある。一方、自宅で5年以内に身近で大切な人の死を経験したことがある場合に、自身の療養場所として必ずしも自宅を選択するというわけではなかった。なお、遺族を対象とした先行研究において、在宅で看取りを経験した遺族のうち、自身の予測される余命が1~2カ月くらいの場合に希望する療養場所では、自宅が58%と最多ではあったものの、必ずしも在宅療養を希望していないことを指摘している<sup>5</sup>。自らの問題となると、家族への負担などを考えて自宅以外の療養場所を希望することが考えられ、在宅療養における課題の検討が必要である印象を受ける。

一方、慢性の思い心臓病や認知症を想定した場合に、5年以内に介護経験があると、療養場所として自宅を選択することが示された。先の死別に関しては、一時点のみの関わりの可能性もあるが、介護は継続的な関わりである。介護経験は、より具体的な療養生活を描くことにつながり、自宅や介護施設での療養も可能と考えられたのかもしれない。

誰と同居しているかについて注目すると、末期がんや、慢性の思い心臓病を想定した場合、それぞれ父母・息子の妻、息子といった同居者がいると、自宅で療養したいという希望がみられるが、想定される疾患が認知症では、誰と同居をしていたとしても、自宅を療養場所として希望するという有意な結果は得られなかった。人生の最終段階について考える際、家族等の負担になりたくないとする人は多く<sup>6</sup>、認知症は認知機能低下に伴う生活の支障が生じることで、家族に負担をかけるという思いから、療養先として自宅を選択しないことにつながっていると考えられる。

今回の調査の最大の限界は、調査票の回収率が低いことである。なお、調査票は、全国の20歳以上の男女から層化二段階無作為抽出で抽出された一般国民に対し郵送されたが、回収された調査票の地域によるばらつきまでは把握できない。

また、調査票に含まれていない項目に関しては、希望する療養場所との関連性を議論することができない。

今回の調査より、想定される疾患によって人生の最終段階に希望する療養場所が変わる可能性が読み取れ、今後さらなる解析を行っていく予定である。

## E. 結論

今回の調査結果から、病院での死別経験は、自身の人生の最終段階の療養場所として、医療機関を希望することと関連が認められた。また、人生の最終段階の療養に直結すると考えられるような介護経験があると、人生の最終段階に希望する療養場所として自宅を選択することに関連する可能性が示唆された。また、人生の最終段階に想定される疾患によって、希望する療養場所が変わる可能性が考えられ、今後さらなる解析を行っていく方針である。

## F. 健康危険情報

特記なし

## G. 研究発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## 参考文献

1. 人生の最終段階における医療に関する意識調査 平成30年3月  
[http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/saisyuiryo\\_a\\_h29.pdf](http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/saisyuiryo_a_h29.pdf)
2. 人生の最終段階における医療に関する意識調査 平成26年3月  
<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/000004>

- 1847\_3.pdf
3. Fukui S, Yoshiuchi K, et al: Japanese people' s preference for place of end of life care and death: a population-based nationwide survey. Journal of pain and symptom management, 2011;42 882-892
  4. Yamagishi A, Morita T, et al: Preferred place of care and place of death of general public and cancer patients in Japan. Support Cancer Care, 2012;20 2575-2582
  5. 宮下光令、平井啓ら:在宅療養への意向に関する意思決定と在宅で死亡した遺族の希望する死亡場所  
[https://www.hospat.org/assets/templates/hospat/pdf/j-hope/J-HOPE\\_3\\_14.pdf](https://www.hospat.org/assets/templates/hospat/pdf/j-hope/J-HOPE_3_14.pdf)
  6. 終末期医療のあり方に関する懇談会「終末期医療に関する調査」結果について 平成 22 年 12 月  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ypwi.pdf>

謝辞 :

本研究のデータ分析にあたっては、筑波大学筑波大学理工学群社会工学類 経営工学主専攻 4 年 佐々木健佑さんにご協力を頂いた。

Table2  
 設定される疾病別希望する医療・療養の場所 単変量解析 n=781

		末期がん				慢性の重い心臓病				認知症				
		医療機関 n (%)	介護施設 n (%)	自宅 n (%)	p 値	医療機関 n (%)	介護施設 n (%)	自宅 n (%)	p 値	医療機関 n (%)	介護施設 n (%)	自宅 n (%)	p 値	
性別	男性	189(43.8)	40(9.3)	202(46.9)	<b>p=0.020</b>	231(53.6)	75(17.4)	125(29.0)	p=0.168	154(35.7)	210(48.7)	67(15.6)	<b>p=0.001</b>	
	女性	120(34.3)	43(12.3)	187(53.4)		170(48.6)	79(22.5)	101(28.9)		88(25.1)	218(62.3)	44(12.6)		
年齢	65歳以上	147(45.4)	37(11.4)	140(43.2)	<b>p=0.007</b>	172(53.1)	53(16.3)	99(30.6)	p=0.135	122(37.6)	138(42.6)	64(19.8)	<b>p=0.000</b>	
	65歳未満	162(35.4)	46(10.1)	249(54.5)		229(50.1)	101(22.1)	127(27.8)		120(26.3)	290(63.4)	47(10.3)		
最終学歴	短大・専門学校・大学	以上	176(39.6)	49(11.1)	219(49.3)	p=0.900	223(50.2)	109(24.6)	112(25.2)	<b>p=0.000</b>	109(24.5)	293(66.0)	42(9.5)	<b>p=0.000</b>
	以下	133(39.5)	34(10.1)	170(50.4)	178(52.8)		45(13.4)	114(33.8)	133(39.5)		135(40.0)	69(20.5)		
かかりつけ医	あり	133(41.2)	30(9.3)	160(49.5)	p=0.522	160(49.5)	60(18.6)	103(31.9)	p=0.305	107(33.1)	155(48.0)	61(18.9)	<b>p=0.001</b>	
	なし	176(38.4)	53(11.6)	229(50.0)		241(52.6)	94(20.5)	123(26.9)		135(29.5)	273(59.6)	50(10.9)		
人生の最終段階の医療について考えたこと	あり	186(38.8)	50(10.4)	244(50.8)	p=0.770	238(49.6)	88(18.3)	154(32.1)	<b>p=0.045</b>	152(31.7)	260(54.1)	68(14.2)	p=0.869	
	なし	123(40.9)	33(11.0)	145(48.2)		163(54.2)	66(21.9)	72(23.9)		90(29.9)	168(55.8)	43(14.3)		
配偶者との同居	あり	217(41.0)	54(10.2)	258(48.8)	p=0.471	280(52.9)	105(19.9)	144(27.2)	p=0.289	166(31.4)	300(56.7)	63(11.9)	<b>p=0.026</b>	
	なし	92(36.5)	29(11.5)	131(52.0)		121(48.0)	49(19.4)	82(32.6)		76(30.2)	128(50.8)	48(19.0)		
父母との同居	あり	24(24.5)	8(8.2)	66(67.3)	<b>p=0.001</b> ※	42(42.9)	24(24.5)	32(32.6)	p=0.167**	29(29.6)	50(51.0)	19(19.4)	p=0.286 ※	
	なし	285(41.7)	75(11.0)	323(47.3)		359(52.6)	130(19.0)	194(28.4)		213(31.2)	378(55.3)	92(13.5)		
息子との同居	あり	88(37.0)	23(9.7)	127(53.3)	p=0.437**	115(48.3)	33(13.9)	90(37.8)	<b>p=0.000</b> **	79(33.2)	128(53.8)	31(13.0)	p=0.633 ※	
	なし	221(40.7)	60(11.1)	262(48.2)		286(52.7)	121(22.3)	136(25.0)		163(30.0)	300(55.3)	80(14.7)		
娘との同居	あり	78(39.0)	27(13.5)	95(47.5)	p=0.296**	107(53.5)	43(21.5)	50(25.0)	p=0.347	64(32.0)	119(59.5)	17(8.5)	<b>p=0.020</b>	
	なし	231(39.8)	56(9.6)	294(50.6)		294(50.6)	111(19.1)	176(30.3)		178(30.6)	309(53.2)	94(16.2)		
息子の妻と同居	あり	8(20.0)	6(15.0)	26(65.0)	<b>p=0.022</b> ※	16(40.0)	5(12.5)	19(47.5)	<b>p=0.037</b> **	13(32.5)	18(45.0)	9(22.5)	p=0.239 ※	
	なし	301(40.6)	77(10.4)	363(49.0)		385(52.0)	149(20.1)	207(27.9)		229(30.9)	410(55.3)	102(13.8)		
娘の夫と同居	あり	4(36.4)	1(9.1)	6(54.5)	p=1.000**	4(36.4)	2(18.2)	5(45.4)	p=0.432**	3(27.2)	4(36.4)	4(36.4)	p=0.107 ※	
	なし	305(39.6)	82(10.7)	383(49.7)		397(51.6)	152(19.7)	221(28.7)		239(31.0)	424(55.1)	107(13.9)		
5年以内の介護の経験	あり	119(41.2)	29(10.0)	141(48.8)	p=0.760	153(52.9)	48(16.6)	88(30.5)	p=0.242	94(32.5)	149(51.6)	46(15.9)	p=0.338	
	なし	190(38.6)	54(11.0)	248(50.4)		248(50.4)	106(21.5)	138(28.1)		148(30.1)	279(56.7)	65(13.2)		
大切な人の死を5年以内に病院で	経験あり	116(50.9)	20(8.8)	92(40.3)	<b>p=0.000</b> ※	149(65.4)	27(11.8)	52(22.8)	<b>p=0.000</b> **	98(43.0)	111(48.7)	19(8.3)	<b>p=0.000</b> ※	
	経験なし	193(34.9)	63(11.4)	297(53.7)		252(45.6)	127(23.0)	174(31.4)		144(26.1)	317(57.3)	92(16.6)		
大切な人の死を5年以内に施設で	経験あり	34(38.2)	10(11.2)	45(50.6)	p=0.946**	57(64.0)	12(13.5)	20(22.5)	<b>p=0.041</b> **	38(42.7)	42(47.2)	9(10.1)	<b>p=0.042</b> ※	
	経験なし	275(39.7)	73(10.6)	344(49.7)		344(49.7)	142(20.5)	206(29.8)		204(29.5)	386(55.8)	102(14.7)		
大切な人の死を5年以内に在宅で	経験あり	21(28.0)	8(10.7)	46(61.3)	p=0.082**	35(46.7)	12(16.0)	28(37.3)	p=0.244**	26(34.7)	31(41.3)	18(24.0)	<b>p=0.015</b> ※	
	経験なし	288(40.8)	75(10.6)	343(48.6)		366(51.8)	142(20.1)	198(28.1)		216(30.6)	397(56.2)	93(13.2)		

Table3  
 設定される疾病別希望する医療・療養の場所 多項ロジット解析結果  
 病院を選択することを基準として比較  
 n=781(人)

	末期がん				慢性の重い心臓病				認知症			
	介護施設を選択		自宅を選択		介護施設を選択		自宅を選択		介護施設を選択		自宅を選択	
	RRR	95%CI	RRR	95%CI	RRR	95%CI	RRR	95%CI	RRR	95%CI	RRR	95%CI
性別(男性)	<b>0.58</b>	<b>0.35-0.98</b>	0.75	0.54-1.04	<b>0.62</b>	<b>0.42-0.93</b>	1.05	0.73-1.49	<b>0.46</b>	<b>0.32-0.66</b>	0.94	0.57-1.56
年齢(連続変数)	0.96	0.79-1.17	<b>0.77</b>	<b>0.68-0.87</b>	0.96	0.82-1.11	0.93	0.81-1.06	<b>0.79</b>	<b>0.69-0.91</b>	0.93	0.77-1.13
教育歴(短大・専門学校・大学以上)	1.07	0.61-1.89	0.77	0.53-1.10	<b>2.09</b>	<b>1.33-3.30</b>	0.76	0.52-1.12	<b>2.50</b>	<b>1.71-3.65</b>	0.84	0.49-1.44
かかりつけ医(あり)	0.82	0.44-1.50	1.37	0.94-1.99	1.35	0.84-2.16	1.25	0.83-1.88	1.21	0.81-1.81	1.63	0.93-2.85
これまでに考えたことがあるか※(ある)	0.96	0.57-1.64	1.06	0.75-1.48	0.76	0.51-1.15	<b>1.49</b>	<b>1.03-2.18</b>	0.72	0.50-1.04	0.82	0.49-1.38
配偶者と同居あり	0.78	0.44-1.38	1.00	0.69-1.44	1.02	0.64-1.63	0.71	0.48-1.05	1.16	0.77-1.73	0.62	0.37-1.06
父母と同居あり	1.05	0.43-2.61	<b>1.80</b>	<b>1.04-3.11</b>	1.36	0.74-2.53	1.32	0.75-2.32	0.58	0.33-1.04	1.41	0.66-3.02
息子と同居あり	0.80	0.45-1.45	1.10	0.77-1.58	0.67	0.41-1.08	<b>1.79</b>	<b>1.22-2.62</b>	0.80	0.54-1.18	0.82	0.47-1.44
娘と同居あり	1.59	0.88-2.87	0.87	0.58-1.29	1.06	0.66-1.70	0.79	0.51-1.22	0.79	0.52-1.19	0.50	0.25-1.00
息子の妻と同居あり	<b>3.78</b>	<b>1.14-12.54</b>	<b>2.71</b>	<b>1.13-6.52</b>	1.10	0.36-3.31	1.38	0.64-2.96	1.31	0.56-3.04	1.24	0.45-3.40
娘の夫と同居あり	0.81	0.08-8.17	1.60	0.41-6.23	1.71	0.28-10.47	2.85	0.69-11.83	1.67	0.33-8.46	4.28	0.80-22.78
5年以内の介護の経験あり	1.11	0.62-2.00	1.26	0.87-1.82	1.19	0.75-1.89	<b>1.52</b>	<b>1.02-2.26</b>	1.30	0.88-1.94	<b>2.20</b>	<b>1.28-3.79</b>
大切な人の死を5年以内に病院で経験あり	<b>0.50</b>	<b>0.27-0.93</b>	<b>0.45</b>	<b>0.31-0.65</b>	<b>0.31</b>	<b>0.19-0.53</b>	<b>0.40</b>	<b>0.26-0.61</b>	<b>0.44</b>	<b>0.30-0.66</b>	<b>0.20</b>	<b>0.10-0.37</b>
大切な人の死を5年以内に施設で経験あり	1.11	0.51-2.41	1.09	0.66-1.80	<b>0.50</b>	<b>0.25-0.99</b>	<b>0.56</b>	<b>0.32-0.99</b>	<b>0.54</b>	<b>0.32-0.92</b>	0.51	0.23-1.16
大切な人の死を5年以内に在宅で経験あり	1.34	0.55-3.25	1.65	0.93-2.94	0.80	0.39-1.65	1.11	0.63-1.96	0.61	0.33-1.12	1.14	0.56-2.33

RRR: Relative risk ratio

95%CI: 95% confidence interval

※ これまでに人生の最終段階における医療・療養に関して考えたことがあるか